

## 基金シート番号

令和5年度基金シート				(内閣府まとめ版)		
基金の名称	中小企業イノベーション創出推進基金		担当部局	科学技術・イノベーション推進事務局		
基金事業の名称	中小企業イノベーション創出推進事業		担当課室	イノベーション推進担当		
基金の造成法人等の名称	一般社団法人低炭素投資促進機構 公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会		作成責任者	宇田川 徹		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律(平成20年法律第63号)第2条、第34条の8～14		共管府省庁名・ 基金シート番号			
関係する計画・ 通知等	「経済財政運営と改革の基本方針2022」(令和4年6月7日) 「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」(令和4年6月7日閣議決定) 「統合イノベーション戦略2022」(令和4年6月3日閣議決定) 「スタートアップ育成5か年計画」(令和4年11月28日)					
事業の目的	スタートアップを育成する際、公共調達の活用が重要であり、公共調達を見据えた技術開発支援であるSBIR制度の支援対象に新たに先端技術分野の実証フェーズを追加し、スタートアップ等による先端技術分野の技術実証の成果の社会実装を推進する。					
現状・課題 (5行程度以内)	政府は、令和4年11月に「スタートアップ育成5か年計画」を策定し、スタートアップへの強力な支援を行っていくこととしており、SBIR(Small/Startup Business Innovation Research)制度についても強力に推進していくこととされている。具体的には、SBIR制度の抜本拡充として令和4年度第2次補正予算において、「中小企業イノベーション創出推進事業」(フェーズ3基金事業)が措置されたところ、「スタートアップ育成5か年計画」を踏まえ、本事業の活用により、スタートアップの有する先端技術の早期の社会実装を強力に推進していく。					
事業概要 (5行程度以内)	(1) <input checked="" type="checkbox"/> 取崩し型 <input type="checkbox"/> 回転型 <input type="checkbox"/> 保有型 <input type="checkbox"/> 運用型 <input type="checkbox"/> その他 (2) <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> 債務保証 <input type="checkbox"/> 利子助成・補給 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 補てん <input type="checkbox"/> 出資 <input type="checkbox"/> 調査等 <input type="checkbox"/> その他 文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省において基金を造成し、当該基金を活用したスタートアップ等による研究開発を促進し、その成果を国主導の下で円滑に社会実装するため、先端技術分野を対象に、スタートアップ等が社会実装に繋げるための大規模技術実証(フェーズ3)を実施する。					
事業概要URL	-					
基金事業の これまでの取組と その成果	令和4年度中に、内閣府から各省(文部科学省・厚生労働省・農林水産省・経済産業省・国土交通省)に予算を移替え。 令和4年度中に、文部科学省・農林水産省・経済産業省において基金造成。					
基金方式の 必要性	基金事業の類型 (該当するものを選択)	<input type="checkbox"/> ①不確実な事故等の発生に応じて資金を交付する事業 <input type="checkbox"/> ②資金の回収を見込んで貸付等を行う事業 <input type="checkbox"/> ③事業の進捗が他の事業の進捗に依存するもの <input checked="" type="checkbox"/> ④その他		左記に該当する理由(④の場合、基金によらざるを得ない理由) 本基金で実施する事業は、スタートアップが有する先端技術の実証を複数年度にわたって支援するものであり、未だ社会実装がなされておらず、市場環境の変化等の影響を強く受けることから、各年度の所要額をあらかじめ見込み難く、弾力的な支出が必要であると同時に、資金調達力の低いスタートアップが技術実証を安定的かつ効率的に行うためには、あらかじめ複数年度にわたる財源を確保しておく必要があることから、基金により対応することとしている。		
	法律に根拠を有する場合、該当条項	-				
基金の造成の 経緯①	基金造成年度	令和4年度	当初・補正・予備費等 会計区分	補正(第2号) 一般会計	国費額 (単位:百万円)	170.430
	資金交付の形態	直接交付	原資となった資金の名称 (歳出予算項・目)	(項)中小企業イノベーション創出推進費 (目)中小企業イノベーション創出推進事業費補助金	補助金適正化法 適用の有無	有
関連する レビューシート	作成年度	令和4年度	事業名	SBIR(Small Business Innovation Research)制度の抜本拡充	事業番号	2023-府-22-0013
終了予定時期	【基金事業の終了予定時期】 未定					
	【基金事業の終了予定時期を設定していない理由】 その他(終期を定めないことに合理的な理由が存在するため) 本事業においては、プロジェクト終了後も、その成果を用いて社会実装に向けて取り組む企業の活動をフォローアップすること及び財産処理等の事務手続きが発生することなどが想定されるが、当該事項への対応が必要となる期間が現時点では未確定であるため。					
	【基金事業の新規申請受付終了時期】 令和9年度末に新規申請受付終了予定					
	【基金事業の新規申請受付終了時期を設定していない理由】					
補助金適正化法 施行令第4条第2 項各号で定める 事項	基金シート番号「2-1」「2-2」「2-3」を参照。					

活動内容① (アクティビティ)		先端技術分野の大規模技術実証を行うスタートアップ等への補助							
活動目標及び 活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	補助事業者の採択	採択件数	活動実績 当初見込み	件	令和4年度新規		令和5年3月 末に基金造成	公募・審査中	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	プロジェクト成果の社会実装に向けたロードマップの策定を通じて検討							
成果目標及び 成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
	プロジェクト成果の社会実装に向けたロードマップの策定を通じて検討	プロジェクト成果の社会実装に向けたロードマップの策定を通じて検討	成果実績	プロジェクト成果の社会実装に向けたロードマップの策定を通じて検討	令和4年度新規		令和5年3月 末に基金造成	プロジェクト成果の社会実装に向けたロードマップの策定を通じて検討	
			目標値						
達成度	%								
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	プロジェクト成果の社会実装に向けたロードマップの策定を通じて検討							
成果目標及び 成果実績①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
	プロジェクト成果の社会実装に向けたロードマップの策定を通じて検討	プロジェクト成果の社会実装に向けたロードマップの策定を通じて検討	成果実績	プロジェクト成果の社会実装に向けたロードマップの策定を通じて検討	令和4年度新規		令和5年3月 末に基金造成	プロジェクト成果の社会実装に向けたロードマップの策定を通じて検討	
			目標値						
達成度	%								
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績									
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	プロジェクト成果の社会実装に向けたロードマップの策定を通じて検討							
成果目標及び 成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
	プロジェクト成果の社会実装に向けたロードマップの策定を通じて検討	プロジェクト成果の社会実装に向けたロードマップの策定を通じて検討	成果実績	プロジェクト成果の社会実装に向けたロードマップの策定を通じて検討	令和4年度新規		令和5年3月 末に基金造成	プロジェクト成果の社会実装に向けたロードマップの策定を通じて検討	
			目標値						
達成度	%								
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		プロジェクト成果の社会実装に向けたロードマップの策定を通じて検討							

アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない場合の理由									
		「指定補助金等の交付等に関する指針について(令和5年6月9日閣議決定)」において、プロジェクト成果の社会実装に向けたロードマップを作成し、フェーズ3基金事業実施期間中に对外公表を行うとしており、現時点では支援対象となるスタートアップ等の採択が完了していないためアウトカムを設定することは難しい。									
収入・支出等 (単位:百万円)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度見込み					
	前年度末基金残高(a)				-	170,430					
	収入	国からの資金交付額			170,430	35,570					
		運用収入			-	-					
		(うち国費相当額)			(-)	(-)					
		〇〇収入				-					
		(うち国費相当額)			(-)	(-)					
		その他			-	-					
	合計(b)			令和4年度新規	170,430	35,570					
	支出	事業費			-	公募・審査実施中					
		管理費			-	1,361					
		(うち基金設置法人の事務費)			(-)	(392)					
		(うち基金設置法人の人件費)			(-)	(97)					
		合計(c)			-	公募・審査実施中					
	国庫返納額(d)				-						
当年度末基金残高(a+b-c-d)				170,430	公募・審査実施中						
(うち国費相当額)				(170,430)	(-)						
基金設置法人の事務人件費 (当該基金からの支出を除く) (単位:百万円)	事務費				(-)	(-)					
	人件費				(-)	(-)					
	合計				-	-					
補助等に関する 交付決定実績 (単位:百万円)	交付決定年度	単位	交付決定額	支出年度							
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度見込み	令和6年度以降見込み			
	2年度実績 (下段:当初見込み)	件:金額	令和4年度新規	令和4年度新規		令和5年3月末に 基金造成	令和5年3月末に 基金造成	:			
		件:金額						:			
	3年度実績 (下段:当初見込み)	件:金額									:
		件:金額									:
	4年度実績 (下段:当初見込み)	件:金額	令和5年3月末に基金造成								:
	件:金額									:	
5年度見込み	件:金額	公募・審査実施中								公募・審査実施中	:

執行の乖離の状況 (単位:百万円)	令和3年度事業費見込み(a) (令和3年度基金シートより)	令和4年度新規	令和3年度事業費(b)	令和4年度新規	
	乖離額(c=a-b)		乖離率(c/a)		
	【乖離の理由等】				
	令和4年度新規				
	令和4年度事業費見込み(a) (令和4年度基金シートより)	令和5年3月末に基金造成	令和4年度事業費(b)	令和5年3月末に基金造成	
	乖離額(c=a-b)		乖離率(c/a)		
【乖離の理由等】					
令和5年3月末に基金造成					
保有割合 (基金事業に要する費用に対する保有基金額等の割合)	1.00	算出根拠	計算式	保有割合=①170,430百万円/②170,430百万円	
		算出根拠に用いた事業見込みの考え方	各項の内容	①令和4年度末基金残高 ②令和4年度中に造成された基金における事業実施に必要な額(令和5年度以降支出見込額) 計算式 令和4年度中に造成された基金における令和5年度以降に必要となる先端技術分野の大規模技術実証を行うスタートアップ等への補助に係る費用及びその支障に係る管理費=(A)+(B) (A)令和4年度中に造成された基金における先端技術分野の大規模技術実証を行うスタートアップ等への補助に係る費用の令和5年度以降の交付予定額 (B)令和4年度中に造成された基金における先端技術分野の大規模技術実証を行うスタートアップ等への補助に係る費用の令和5年度以降の交付予定額:162,160百万円	
使用見込みの低い基金等の該当の有無と検討結果等	① 事業を終了した基金	無	保有割合が「1」を上回り、左記④で「無」とした場合、その理由		
	② 前回の見直し以降事業実績がない基金 又は直近3年以上実績がない基金	無			
	③ 基金造成時の政策目的がなくなった基金 又は変更になった基金	無			
	④ 保有割合が「1」を大幅に上回っている基金	無			
	⑤ その他使用見込みが低いと判断される基金	無			
	【使用見込みの低い基金等に該当する場合の検討 【使用見込みの低い基金等を残置する場合の理				
基金への 拠出時期・ 額の適切性の 点検	【一括交付の場合】 一括交付が	基金シート番号「2-1」「2-2」「2-3」を参照。			
	【分割交付の場合】 追加時期及び金額を 決定する際の考え方	—			
基金事業・基金の 造成法人等への調 査・検査等の実施 状況	基金シート番号「2-1」「2-2」「2-3」を参照。				
基金の 設置法人等の 適格性の点検	選択方法 及び選定理由等	基金シート番号「2-1」「2-2」「2-3」を参照。			
	基金設置法人等の 適格性の点検結果	基金シート番号「2-1」「2-2」「2-3」を参照。			

基金所管部局による点検・改善結果

点検結果	基金シート番号「2-1」「2-2」「2-3」を参照。	目標年度(令和〇年度)における効果測定に関する評価
------	----------------------------	---------------------------

改善の方向性	基金シート番号「2-1」「2-2」「2-3」を参照。
--------	----------------------------

外部有識者の所見

基金シート番号「2-1」「2-2」「2-3」を参照。
----------------------------

行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見

基金シート番号「2-1」「2-2」「2-3」を参照。
----------------------------

所見を踏まえた改善点

基金シート番号「2-1」「2-2」「2-3」を参照。
----------------------------

過去に実施した見直しの概要	
---------------	--

備考	
----	--

※令和4年度実績を記入。

内閣府  
206,000百万円

↓ 移替

<p>文部科学省 69,470百万円</p> <p>↓ 補助(基金造成)</p> <p>A. 一般社団法人低炭素投資促進機構 【収入】 補助金: 69,470百万円 【支出】 管理費: ー円 残 高: 69,470百万円</p>	<p>厚生労働省 5,260百万円</p>	<p>農林水産省 46,720百万円</p> <p>↓ 補助(基金造成)</p> <p>B. 公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会 【収入】 補助金: 46,720百万円 【支出】 管理費: ー円 残 高: 46,720百万円</p>	<p>経済産業省 54,240百万円</p> <p>↓ 補助(基金造成)</p> <p>C. 一般社団法人低炭素投資促進機構 【収入】 補助金: 54,240百万円 【支出】 管理費: ー円 残 高: 54,240百万円</p> <p>↓ 委託(令和5年度)</p> <p>G. 株式会社野村総合研究所(運営支援法人) ※令和5年度に選定</p>	<p>国土交通省 30,310百万円</p>
--	---------------------------	--	---	----------------------------

委託(令和5年度)

- D. 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(運営支援法人) ※令和5年度に選定
- E. PwCコンサルティング合同会社(運営支援法人) ※令和5年度に選定
- F. 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所(運営支援法人) ※令和5年度に選定

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)
1	一般社団法人低炭素投資促進機構	9010005015587	中小企業イノベーション創出推進事業の実施に向けて、中小企業イノベーション創出推進基金を造成。	69,470
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)
1	公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会	8010405000743	中小企業イノベーション創出推進事業の実施に向けて、中小企業イノベーション創出推進基金を造成。	46,720
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)
1	一般社団法人低炭素投資促進機構	9010005015587	中小企業イノベーション創出推進事業の実施に向けて、中小企業イノベーション創出推進基金を造成。	54,240
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

D.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				